



第44回 二輪草セミナー『パパ育休について知ろう!』終了報告

二輪草副センター長 菅野 恭子

2026年2月17日、「二輪草セミナー」を開催いたしました。
本セミナーでは、看護部、薬剤部、泌尿器科の三部門より、異なる立場から子育てといわゆる“パパ育休(父親の育児参加)”についてご講演いただきました。

【看護部】

酒井ご夫妻より、夫婦で協力しながら子育てに取り組む日常についてご紹介いただきました。互いに支え合い、役割を柔軟に分担する姿は、多くの参加者にとって具体的で身近なロールモデルとなりました。

【薬剤部】

主任の小林さんによる育児休業取得の申し出と、それに対する上司・小野さんの対応についての経験が共有されました。制度を運用する立場としての葛藤や工夫が率直に語られ、育児休業を受け入れる組織風土づくりの重要性が改めて認識されました。

【泌尿器科】

菊地先生からは、ご自身が二度の育児休業を取得された体験談が紹介され、男性医師が育児休業を取得する際に直面する“見えない壁”についてお話いただきました。さらに、沼倉教授からは診療応援体制を属人化させない取り組みの重要性が示され、組織全体で支える仕組みづくりへの示唆がありました。

【特別講演】

特別講演では、NPO法人ファザーリング・ジャパン北海道代表理事の谷内政昭氏より、「パパ育休が作る組織の力」と題したご講演をいただきました。

父親になるためには“OSをアップデートする”ように意識を変えることの重要性が語られました。産後はホルモンバランスの変化により約10人に1人が産後うつを発症するとされ、男性の育児休業取得は家族の命を守ることもつながります。また、長時間労働や睡眠不足、孤立は父親の産後うつ発症の要因にもなり得ることが示されました。

さらに、男性育休の推進は、組織力の強化、生産性向上、帰属意識の向上、離職率の低下、採用力やブランド力の向上など、組織全体にとっても大きな意義があることが強調されました。「男性の家事・育児参加は、社会を変えるボウリングの一番のピンである」というメッセージは、参加者に強い印象を残しました。

～まとめ～

本セミナーは、多様な立場から育児と仕事の両立について考える貴重な機会となりました。旭川医科大学において男性の育児休業取得がさらに浸透し、誰もが安心して働き続けられる環境づくりが進むことが期待されます。

西川祐司学長、東信良病院長をはじめ、ご参加いただきました皆様、ならびにご登壇いただきました講師の皆様、心より御礼申し上げます。



酒井正利さん・はるなさん
ご夫妻



小林直貴主任薬剤師
小野尚志副薬剤部長



泌尿器科
菊地 大樹先生



泌尿器科
沼倉 一幸教授



FJ北海道 代表理事
谷内 政昭氏

令和7年度 旭川市多様な働き方推進事業者表彰のご報告

二輪草センター長 谷野美智枝



旭川市では、ワーク・ライフ・バランスの実現をはじめ、誰もが安心して働くことができる職場環境づくりを促進するため、多様な働き方に積極的に取り組んでいる事業者の認定と表彰を行っています。前年度に本学は「旭川市多様な働き方推進事業者」として「ゴールド」の認定をうけていましたが、今年度は最高位の「プラチナ」の認定を受け、西川祐司学長と二輪草センター長の私が1月15日に旭川市役所で開催された表彰式に参加してきましたのでご報告させていただきます。

認定のためには10項目の要件が明示されており、そのうち何項目が該当するかにより「ブロンズ」「シルバー」「ゴールド」「プラチナ」の4段階の認定があります。7～8項目が該当すると「ゴールド」、9～10項目が該当すると「プラチナ」を取得することができます。10項目とは「仕事と生活の両立」、「出産後の就労継続」、「キャリア形成支援」、「男性の育児休業等取得」、「長期勤続」、「多様な働き方」、「女性管理職の活躍」、「働き方に対する取り組み表明」、「働き方改革」、「啓発事業への参加」です。

前年度は認定されなかった「働き方改革」、「啓発事業への参加」の2項目が認定され、全部で9項目が該当するという事で、「プラチナ」認定になりました。最高位の認定を受けて素晴らしい職場であることが認められたものの、未認定の項目は残り1項目で「女性管理職の活躍」であり、この項目が不十分であることが改めて課題が認識される機会となりました。

二輪草センター(復職・子育て・介護支援センター)は、2007年に「全職員や全学生にとって働きやすく学びやすい環境を提供する」ことを使命として、全国の大学に先駆けて設立され、来年には20周年を迎えます。この間、本センターを大学に設置し、二輪草卒医員制度、病児病後児保育、キッズスクール、バックアップナースシステムの導入、ワークライフバランスの講義や復職支援を含む様々な勉強会や講演会の開催などを行ってきました。その成果が実を結び、今回の「プラチナ」認定にふさわしい職場になってきたものと考えます。皆様にとってかけがえのない二輪草センターでありたいと思うと共に、「女性管理職の活躍」が認定され「プラチナ認定」としてパーフェクト認定になるよう、本センターも引き続き尽力したいと思います。



バックアップナース、病児・病後児保育室、問い合わせ数 【2月20日～3月19日までの利用状況】

バックアップナース	依頼回数	18 回	稼働回数	18 回
病児・病後児保育室	依頼回数	20 回	利用回数	15 回
問い合わせ/カウンセリング			3 回 /	1 回

※病児・病後児保育室は全職員・学生がご利用になれます

【お問い合わせ先】

旭川医科大学 二輪草センター(復職・子育て・介護支援センター)
〒078-8510 北海道旭川市緑が丘東2条1丁目1-1
TEL : 0166-69-3240(内線3240) サンニンヨレ FAX : 0166-69-3249
開設時間 : 8時30分～17時15分 E-mail: nirinsou@asahikawa-med.ac.jp
ホームページ: <http://www.asahikawa-med.ac.jp/hospital/nirinsou/>